

家經動心圖會
五

~ 13
3331
15



義經勳功圖會後編卷之三

目錄

賜姓名忠信停芳野條

忠信勇戰斬覺範條

義經主從諸所流落條

義經懲奈良法師條

忠信饒勇最期之條

忠信奮勇六波羅勢戎惱之圖

得業聖佛到鎌倉條

同圖

大正十年八月廿九日
本大學出版部

ら
る

静子鎌倉被召下條
静於録倉出產之條
安達清經由井が濱小判官の若君と亡圖
工藤祐経妻勸于静法樂舞條

義経勳功圖會後編卷之三

賜姓名忠信傳芳野條

既小其夜も東雲小向くを頂衆徒も講堂の大庭小集會く
軍議區、ある小一人の法師進出行程成量小判官殿至從藤尾返
成越く分入まへ上中院谷の邊小夜成明いあつし片時も早く
押寄く封取やとくたれ衆心と同意し弓よ太刀よと牛持つ白夜
白絹成引裂く差物笠着し血氣乃者成先陣し大鐘鳴鳴し
中院谷ぞ押寄たる案のぞく判官主従と不知案内山路
送ひ辛若く中院谷逆瀆著々我が饜食乃用意なれハ心身俱
小疲果今宵之當所小陣せよと空堂乃有々小歩入燒入ん
息然休々小雪しつと降出く寒風層々斬がし更
小夢く小結をきひ判官爵くく過来し方乃変くも思續け

カカ...

亦と静が更あめど忘るもひ不覚洞小片敷袖成淋しゆと斯く
東雲漸く霞 駿鳥の音をんとて更えなれば早夜を明らうと判官は
従起出さず小麓小卿普鐘の音荒らふ小せえなれば判官耳は
あ心得むと晨朝の鐘過る亦とや鐘の更ゆる八察ふ所當山の悪
僧原平う當山小在成皮出し討取しとの結構あめ不似僧の腕
五蹴散し捨よいと曰く伊勢三郎大練取小足ざぬ僧法師
と挑戦ひ玉ると長気なり進時と進退時と退く社兵道乃と
意あくいと敵の奇さぬ内小足も早く落延りしとや
是小決りたる処佐藤忠信進出義威の異見尤理乃至極あ
衆徒亦此所寄来り我君在さむと扱と早落延りしと心得
従来所案内者もあまば方へ手配し討奉らんと構あは更
面倒なり李公乃中更あが御著領成賜り御姓名成御危あ

某君の御名成名乗箭種の有ん限と射盡し其後煉燭く討死仕
ら君其間小遠く落延りと言上りこれ判官首成揮りし争う
ふ更有ん我今拔落り身とあれども汝始十余人の者れ隨逐ま
数手乃味方有かしく然小汝成身殺せし更勢有をらすと
辨し公守忠信重く是は惜れ御統る更遲滞く敵勢成廻り
い悔し何乃甲變りし疾落させし亦余義も力なくやと
判官涙成流しし汝兄嗣信ハ矢島少く我命ふ代り能登殿乃矢鋒
小落命しぬ其後ハ汝二人成兄弟俱小具し心地せし今亦汝小別
し更我小於く不忍と仰るが成伊慶制し大丈夫乃二言と細馬追
命成惜む者いしや生も死も皆君の御為御余波と理ふし思
信乃意小任りし勸め小今ハ程方なく緋威の鎧小白星の五枚成

添熊野推現り申賜り黄金造の太刀し俱小忠信ふりて四郎
兵衛躍上り大の怡悦太刀鎧久三度押戴た己が鎧と脱く扱り
と此曾八兄副信が最期の際に著せし思召多し雪の上小差置れを判官
取揚ふし副信しひ汝まゝ我小代し其忠志身終る迄忘るる燈
ふと今日より此曾我著領小せし肩小投樹るへ忠信余の奉
ふさ小潜然と涙成流し臣ホが微忠成左程まゝ思召ふる鶴恩報
一奉ふ期しにさぞな副信も泉下より承り感拜仕らん土小
喰付拜謝しられ並居人も涙成催りくん兵衛氣成厲し時尅殺
くと忠信が忠義も画餅みや成いらん早疾くと勸奉まを判官余
波惜がふよりあふ忠信も今生少く脚顔の見終るれん大猛心と
弱り早洞と膝小淵たゝ斯所小早進くと敵の物音は二くれ

むの兵衛義盛氣成焦燥さうと忠信と君成引立山深く落行け
れた龜井片岡増尾常陸も各忠信小判り清成迷後奉らうとで
馳行るる

忠信勇戦新覚範條

佐藤四郎兵衛忠信と判官成落し進せ今と心安しと三般同結
ろ直垂小恩賜乃田曾成著し重代乃葛井しつ三尺五寸の太太刀
成鵬尾に佩拜領乃太刀成佩添大中黒の征箭止四差と上小誓河
副と大馬俣成上箭小差と苦高小肩方一節木ろ弓れ太く射
しけぬ成持必死乃郎堂五人と俱小中院の東谷女一高成所
小上り未五五六本成小捕小し殺徒息運しと待りけり程
大衆二三百人近くと押寄喊成嘯と上られ忠信主従も日く開成
合せり逸雄乃若大衆亦扱ると判官殿でえられと我先小登

進部就中今日乃先陣八七緒々河倉法眼し悪僧我小不劣悪
僧五六人必左右小徒二陣小進来み河倉其日乃装束ふも頭黄
乃直垂小紫糸乃鎧著る。鏃乃鉢蓋より衆徒頭中必被死信盛作
此大乃必佩正四差し石少乃征前高小負た。二所藤の弓乃真
中握推乃木此四枚捕衝せ矢頂よく進く大音小。當山小伊豫守殿
德御坐。御愛妻許御前小承り。執行の者ども向候元判官
小對。何乃遺恨もたかくいへとも後日の咎必慮り己ま成不得鏑矢
女く持奈仕く。出會みく。旬々み四郎兵衛呵く。笑ひ更も。疎
や清和天皇乃御末伊豫守五位判官源義経是小在汝等疾小
来り礼拜もなれ小。遲滞せし。のをたす。三衣必著し。身中鏃
矢持奈し。とみと推奈。まき。予う手小不足。心底の悪も悪
一渠小残らむ。射落や。し下知。傳多れば。五人の郎堂承り。いとく

差取引結散く小射。衆徒亦此箭鋒小。つら多く射落され。初
乃義勢小似も。中ず。隊必崩。引退く。必河倉法眼大乃小怒り。斯
紅臆病。此大妻小。力せ。八何更。射。や人。中差取
散く小射。治部法眼醫王禪師。是小屬。ま。互。俱小射
り。列位強弓。乃手垂。佐藤。郎堂。三人。射倒。二人。可
等。疵。必。負。忠信。大乃小怒り。躬。三人。張。小。三。東。三。伏。把。く。上
と番。強。弓。兵。と。放。く。不。過。醫。王。禪。師。胸。被。成。射。貫。り。續
く。二。乃。箭。必。番。坊。放。せ。大。一。眼。小。河。倉。法。眼。が。骨。射。斬。り。
尚。彼。方。乃。松。樹。小。一。込。休。具。作。し。衆。徒。と。此。乃。勢。小。舌。必。あ。る。ハ。一
再。度。颯。し。引。退。く。忠。信。至。從。三。入。ハ。何。時。も。斯。く。有。命。死。し。了。敵。必
投。弁。太。刀。抜。拵。く。つ。一。喚。死。大。勢。乃。中。割。く。入。縦。横。無。盡。小。坊。く
廻。む。大。衆。乃。勢。多。く。射。ま。禁。下。必。く。退。り。忠。信。三。入。乃。郎。堂

効力必高心三



う子 蹴後 の 塔の 説ハ
猪書 小 所見 ぶーと
人 へ とも 共 六 十 四 年 九 月 九 日

忠信
勇戦
覚範
斬
圖



魚 子 孫 存 者 三

これバ大王彼大衆小向ひは狀類くりとも年来の目成知た我軍の
魁く敵成敗まよしと言合されバ。大衆頭成儼く領掌の轉成す
扱之心安くと大衆成真先小追立敵軍小向い。大衆ハ牙成鳴し鼻
成怒し敵軍小對く吠成雷雲の下し。志羅那國乃兵卒是成
く大し恐怖する所成。大衆走到く三軍成散く小踐殺く。程小志羅
那國乃兵死成致者數多し。大王も僅十四人小供奉す。是く落
成折節冬乃羊小く雪深く降積く。一人乃智臣王小勸く皆
香成逆小履すく落くかとなり。案のく波羅那國乃勢追蒐来
し。足迹乃逆あり小狐疑成生し遂小不追引返く。小より。志羅
那國の大王卒成命成助り。國小皈り其後練略成廻し遂小波
羅那國成攻亡し。多しなり。是法相三論乃経中。小載く。成故妻小
くいと結されバ。判官卒成拍く感賞し。真小武藏と文武二道の

達人くあり。列位皆成逆小履す。落行り。小人跡絶く。嶮阻成
多。或時と高嶺乃雲成凌成。或時と函谷乃流成。つひ千辛万苦
譬小物方く。山成原来雨多し。空翠自然衣成。湿しぬ向上。我
々く。馬伊乃疊嶽。雲小聳く。疋成冷し。直下ハ溜く。成千丈乃深
淵。蓋小深く。毛孔成寒し。斯成嶮難成。経えあ。小饅食の用意
乏。小判官成始御供乃人々も飢疲く。墓く。歩得たり。り
さぬ。小旅路と成碎か。い。小雨成含る。孤村乃樹成送
ふ。遠寺の鐘。御心成俾し。め。成。幸う。く。芳野成。難。武
峯。小。懸。著。い。其。夜。と。叢。行。乃。露。小。袖。成。片。敷。く。大。織。冠。ハ。脚。下。
向。以。終。夜。成。運。長。久。の。祈。念。し。り。以。翌。を。十。一。月。廿。二。日。南。院。乃。三。條。宮。小。入
あ。當。院。乃。別。當。十。字。坊。と。親。丸。源。氏。方。り。多。し。成。餅。ら。く。一。二。條。宮。前。
天。暗。當。峯。寺。院。廣。大。ゆ。く。衆。徒。も。多。勢。あり。む。脚。味。方。く。鎌。倉。勢。

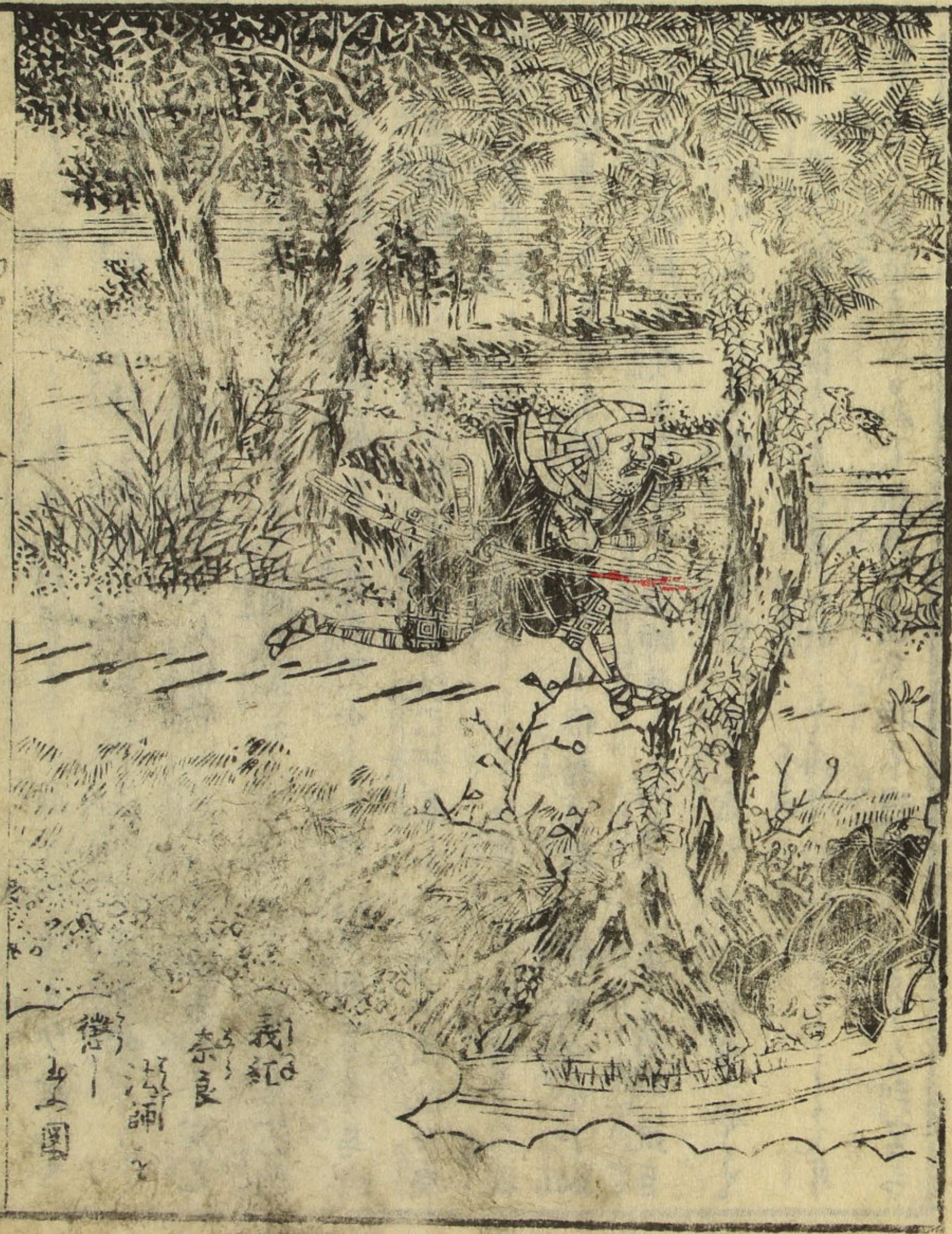
小一箭射く御時憤成も霽奉るる小衆徒も澤あふを院内
亦狭く其更叶も北條時政公乃征將とて大軍引
率一京著仕ふり然も當寺の御住居も危どり是より奥を
取十津河と四方皆峻峻小く十里在里の間八鳥も翔るる要害小
く其上人の心質朴しく弓箭の道小も疎く守はた暫時御逗留
在る大義の針略成もなりしを中々判官御悦喜限り思も
角も善小馮の仰ふを十字坊領承し其頃多武峯乃八悪僧
し受えし道徳行徳拾悟拾禪樂建樂圓文妙文實とて血氣強盛
乃法師武者八人成以判官主徒成十津河へを送進せり茲小於
く暫時心安んじり日小大義の針略成高懸り
義経懲奈良法師條
斯く判官と十津河小潛居りても當所と入馬の通路もたせ世の

動靜も定えされ大義乃策成廻り不便宜悪く是小依り遂小此
所成も忍出南都へ赴れり東大寺の得業聖佛とて子く師檀ろ
恥有る六之倚りひりり得業大乃怡悦り他更なく饗應たり
り小ど判官御喜悅限り東大寺小是成停りひり隨逐り入
り小作るる當年も僅小成りれ予と當院わく越年せんども
世成忍身乃大勢同所小在も如何もれり列位手寄り小身成隠り
以東陽今出河わく衆會一奥へ下り間必尋衆りひり日わ列位
御意小順入思り小出行鬼三太一人と判官小從ひ奉りり然り小得
業上人ハ竊小判官成練りひ緘小哀樂互小替更一衆一義ハ
りりも勇武四海小轟り御身も一度變者乃舌頭小懸りりり
功勞水上の泡と消天地廣りと垂身成置り小所なく沉淪漂浪り
身と成り一更前因り然りむる所且御身乃為小攻伐せり命成預せり

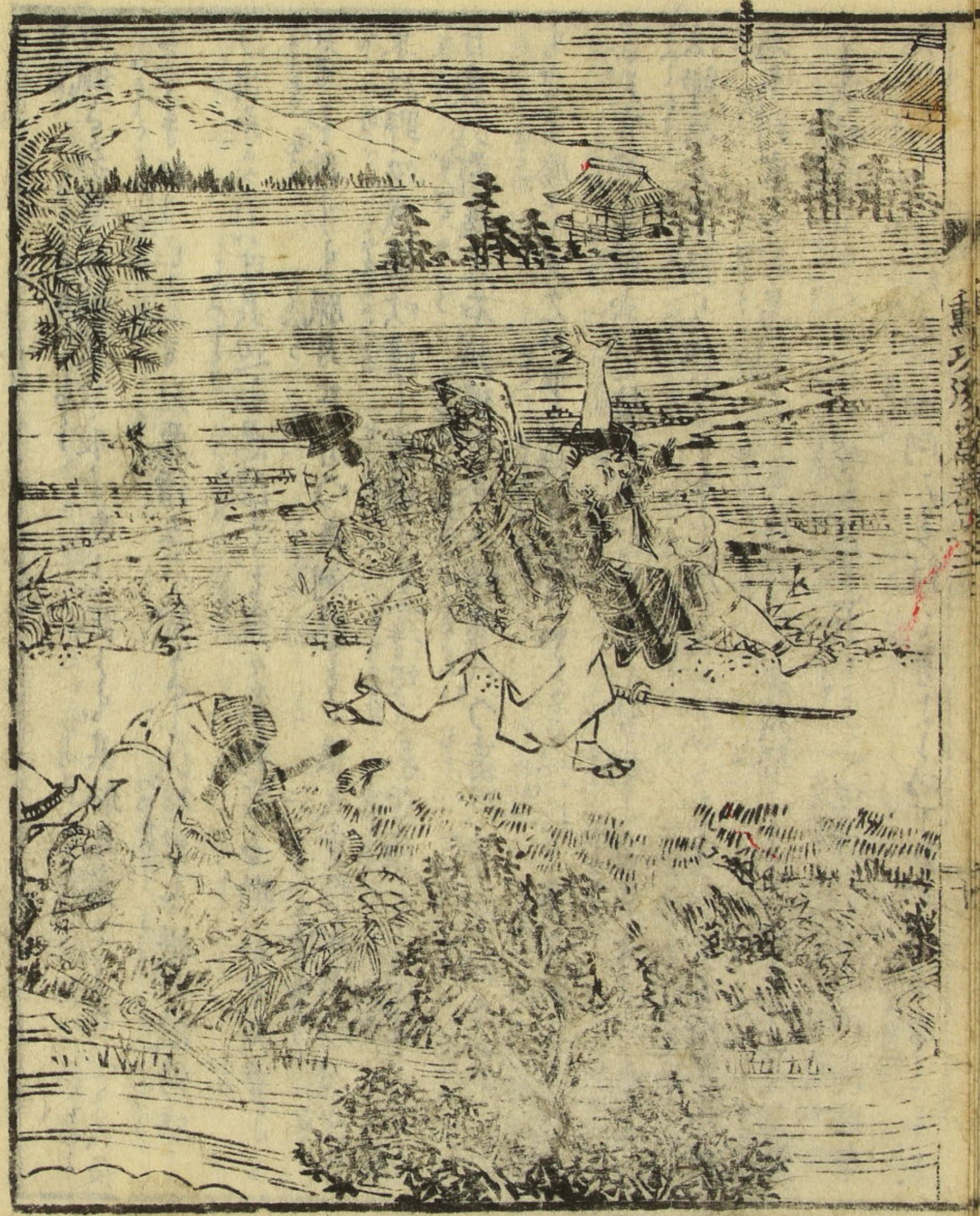
億兆の兵卒の怨恨の飯たる所ふに登し。今と嘆息悪業の田田を
忍辱慈悲の三衣小替。厭離攸求の身と成り。烟小出家得道
勸のひたれむ。判官頭成後。真小師の御教示肝小銘。志を去
ながし手小君兄の為敷度。軍戦小武功成。属四海泰平の大功。成
いひ。小終臣景時。毒舌の為小君。子の勳功成。捨るの。其
為身命成。施功臣の忠賞成。小行。不能生。世の怨争。省
い。更小承引の色。なる。上人も強。勸。小。隨意。小。為
せ。ひ。然。小判官。徒然。成。慰。毎夜。近。邊。成。逍。遙。天。姓
好。葉。浦。吹。澄。ひ。ひ。小。其。頂。ま。洪。福。寺。の。惡。僧。ど。も。人。の。太
刀。成。奪。成。面。白。更。小。思。ひ。毎。夜。窺。ひ。歩。行。太。刀。佩。る。人。小。成。れ。者
無。成。言。せ。奪。取。し。敷。度。小。其。狼。藉。法。小。過。り。説。中。練。梁。小
小。組。馬。の。阿。闍。梨。し。者。不。圖。判。官。の。夜。行。一。つ。成。見。付。天。暗。好。人

刀佩る。男哉。彼成奪取を。思ふ。其鉢。凡庸。介さ。され。其夜
空手。飯。り。己。小。等。を。惡。僧。五。六。人。成。し。ひ。彼。男。と。慥。小。觀。修。坊。上
り。出。成。あ。れ。逆。其。辺。小。忍。隱。く。ど。窺。々。判。官。と。斯。か。更。成。夢。小
知。名。ど。折。し。も。臘。月。廿。七。日。の。夜。例。れ。く。東。大。寺。の。勸。修。坊。成。出。く
東。比。野。辺。成。笛。吹。澄。し。逍。遙。し。待。殺。し。惡。僧。も。使。宜。し。所。近
付。暮。ひ。前。後。左。右。成。追。取。卷。天。暗。希。代。の。笛。れ。名。人。也。佩。る。御。太。刀
も。世。小。勝。く。見。え。い。女。し。拜。見。致。さ。し。言。終。は。寄。り。柄。小。成。成
小。判。官。些。も。強。小。子。彼。者。成。行。手。小。成。成。倒。し。自。若。し。く。其。小
法師。原。人。小。怒。り。扱。へ。す。手。小。成。成。奪。取。し。し。四。方。り。禮
鬼。小。判。官。と。起。鳥。の。し。前。後。左。右。小。身。成。替。し。く。あ。や。り。の。小。成
も。六。蜻。蛉。成。追。心。地。し。姿。を。見。ま。し。も。手。小。捕。得。む。組。馬。ハ。阿。闍。梨
大。小。氣。成。成。爆。ま。や。面。倒。たり。討。く。身。し。の。下。知。小。連。各。帶。し。あ。太

幼少時卷之三



我紅
赤良
海師
一
女園



真五

も宣旨院宣たつた時必ず天聽、美向有登。其往返の間に
 御身の手寄りの源氏、我催促し一度柱旗、我揚雌雄存亡の二戦、
 たり、いと理我盡く練より判官殆感嘆し、い真小評三法小己
 心然委のしと思侍し小。兵隻小迫斯委く通下、ま不側こよ然し
 期未を熟せざる小旗、我開いり、多の人民我失ふ己あつと、大伽羅
 我兵火小滅さむ。後世の苦患も怖し、いと、遠小詳し、出さる
 上人も是非た、親我徒弟六人、我附く京都、い送せられ、
 忠信、饒勇、最期之條

却統佐藤四郎兵衛忠信、を芳野の戰場、我遁まき、京洛上り、四條
 室町たゑ、小柴入道とし、いふ者の娘とし、陸老のう、い有、十二月廿九日
 の夜、小柴が方、忍行竊小案内、いれ、又入道も娘も、獲生、い人小會
 が、い、度、い、愧、い、一度、い、驚、い、種、い、奪、走、い、い、御、食、い、い、れ、い、忠、信、い、い、心

安んし、耳、我、聳く判官乃、御安否、我、字、小、或、八、芳野、小、く、戦、死、有、
 とも、い、又、ち、南都、小、御、坐、在、とも、い、或、ち、北國、い、ち、を、與、下、の、い、
 い、い、く、一、定、あ、い、ね、む、春、小、も、あ、い、我、も、與、下、ら、い、胸、我、定、ま、い、小
 程、な、く、其、年、も、暮、る、い、聖、い、文、治、三、年、の、正、月、小、も、た、り、い、忠、信、既、小
 東、行、乃、思、類、あ、い、とも、い、女、の、為、小、一、日、二、日、と、抑、留、せ、い、れ、不、思、徒、小、日、
 送、り、の、然、小、宣、量、し、此、女、ハ、先、寺、忠、信、小、離、別、後、梶、原、が、三、男、三、郎、景
 久、小、逢、到、く、比、月、の、契、我、あ、い、い、れ、む、此、度、忠、信、我、己、が、方、小、隠、し、置、い、も
 笑、し、景、久、小、生、捕、せ、く、鎌、倉、殿、の、保、録、我、食、し、の、心、巧、か、い、れ、バ、景
 久、我、待、更、一、日、三、秋、乃、思、我、方、手、と、虫、折、悪、く、景、久、と、公、私、乃、要、用、小
 才、暇、た、く、待、い、も、く、不、来、む、女、今、と、溜、り、の、一、通、の、文、我、認、一、大、更、の、い、間
 疾、く、い、せ、い、と、遣、し、た、れ、む、景、久、又、い、何、更、や、い、し、と、取、物、も、不、取、敢
 女、が、好、い、来、り、た、ら、小、女、大、い、小、説、び、一、間、所、小、緒、下、入、耳、小、口、寄、耳、結、く、ハ

子細有く佐藤忠信が許小隠百置より疾小も奥へ
 らししやせ種小練しく面置侍りぬ早勢成差向御身
 高名小備より勸を此景久八景時兄景季景高亦小生勝り
 篤實真正の武士なり。今女薄情新悪方の討成皮電愛の
 念忽ち消失心の裡小嗟嘆。實憑き一れを女心なり。さるの忠
 信も無二心者と思ふこと。心成許し憑まりつゝ小昔日の契成忘れ縹
 緋の辱成業しめし縹々面悪さ。斯に毒婦小身成倚ふあり
 我も亦忠信が二の舞あり。心中小淫吐し忌憎成改り中
 八御身乃尊情祝著せり去か。判官の行衛成こそ草成分り
 尋よしの御旋と蒙れ忠信成榻よしの君命ハ方。亦佐藤忠信と
 天下小被知る忠義の人なり。景久大丈夫しく私欲乃為小渠成
 賣小不忍御身も昔日八連枝比翼の契成電じ。忠信が為小命成

捨る程乃操とあずしも疾渠成落遣く危難成避さめめく
 散る小言愧し老席成蹴まき飯是より再度通さるるか
 女と景久小耻められ。顔成脹しく大い小腹立世小も臆病あり人
 乃有るれ景久小仁義成言ども心中小忠信う脱勇成恐る
 あり先好く此上六波羅へ持入し妻一人の得成得んと卑女人を
 率徒頭小六波羅へ到り江間小四郎義時小就く云の起然々れ義
 時驚れ及時政と商議し先女成飯の船二百余人の逞兵成引來し
 四條室町へ馳到り小柴入道が亭宅成鉄挿りし追取圍鯨波を
 唾と揚りたり。斯と夢小も不知四郎兵衛忠信と前夜女が為り
 酒成強られ沉醉し前後も不知步所雷りし死闘し在り
 鯨波小驚れ岸破し起上ま。早勢率同母乃障子蹴放し我組
 止し進來る初と新人の者有る小ことし小細り上小帯引結ハ太刀



二振追取く腰小差。抗辺小右合尊さ尺紆の基盤戎角うけく引國
近付者戎片腕撃小撃程小或八頭戎撃碎れ。或八角骨腰骨戎碎
う多二瞬内小十四五人抗戎雙く死とりたり其奮勇小群易しく群
兵垂入顔しく細し退忠信續く躍出多勢の中持さる春盤倒と
投身葛井乃太刀拔抜し大喝しく斬く蒐る程小。江間が兵亦多く討
れ今と追侍者一人もたかく。八方より箭續戎造り雨のしく射をたれ素
肌乃忠信禦し術た。今ハ是追しく屋根の上躍上り大音小。是ハせ
と敵乃大将ハ維と。佐藤四郎兵衛忠信が言つるを死す有る矢止く
中ハしと叫りりりり小四郎義時は死す射兵戎制し馬乗出高声
小。當手乃大将戎を北條時政が嫡子。江間小四郎義時承く向く何
受ふもあま承らんしとやれ忠信呵くしとひねと江間殿や鎌倉
殿乃御内小も執推職さ時政乃子息も不覚唯一人の忠信戎討

しく多勢戎以く卧寝乃不意戎討んと八甲竟たれ何故以前り
使者戎差越尋常乃戦と彼為さる。和田畠山の人とあハ斯系不法
と彼為すト小近頃以く抱腹小絶り。我既小芳野少く君小一命と
持たれむ。その惜を命小もあむと太刀の綱鉄乃有し限斬死せハ
安んれ。名も無雜人原百二百討くを逆何の詮を死罪遣りた
れた。今深く自害さるど。忠信程乃者れ生首取く。鎌倉殿乃
御前小く偽言を吐きと。真乃勇士の最期乃様戎見置後代乃器種
小彼為す。雙肌押腕葛井乃太刀逆手小持念佛十編紆高声小
称。左の脇下小岸破と突立右れ脇さつと曳廻し亦取整し心下
し。膝下きく斬下。太刀引抜くお眺呵くしとひ笑も佐藤の家ハ
重宝程有く斬味の快きよ汝等今取く鎌倉殿へ進せたるは
秘藏しあふしく側小差置。今二振の太刀技放し。是ハ芳野少く君

わが

三六

下り思賜の御太刀は黄泉まぐも御籠小せん。遂に口小舎俵小倒
し落つれハ銚と口元小止り。鋒ハ腦後貫き後白く技出く終小呼吸
と絶より多り。時文治三年正月六日辰の剋生年止八歳とてけんんる
真小忠信が最期のが為。人同業とハ思われず。前代まで例不況
後代再有登り守の噫呼斯程の勇士の墓を女色小躰まぐ命を
殞せしこと使ふれ。不惜者こそなうり。斯く義時と忠信と
首を搔落し。二振の太刀と俱小鎌倉へ送られ。源二位も最期の跡を
史君く感涙が流し。ひ呻剛成哉忠信。九郎成身我小仕官ぐ一
國二國の王もかてふ。三日由井濱小島其後鎌倉勝長壽
院小理葬し。跡佃小供養させし。いり

得業聖佛到鎌倉條

茲小供福寺の悪僧伊馬の阿闍黎を判官の為小耳鼻を

